

感謝の会

一色小学校では5月の朝会の時間に、「感謝の会」を実施しました。日頃、登下校の見守り等でお世話になっている地域の方々をお招きし、感謝の気持ちを伝えました。児童代表の言葉の後に、一色小学校のキャラクター「ニョッキ」のメダルをプレゼントし、全員で感謝の気持ちを込めて、校歌と今月の歌(ドレミの歌)を歌いました。学校運営協議会校外安全部会の部会長さんからは、朝みんなが挨拶をしてくれると、元気をもらえてうれしい気持ちになるというお話をいただきました。また、昨年度末に、防犯功労として受章した「神奈川県警察本部長褒章」の披露もしていただきました。日頃から子どもたちの安全安心のため、地域が一体となって取り組んでいただいていることに心から感謝いたします。



にのみや学園では、すべての学校がコミュニティ・スクールとなり、地域の方々が、さまざまな形で学校に関わってくださっています。学校・家庭・地域とそれぞれ立場の異なる人たちが、例えば子どもたちの安全安心など、同じ目的のために目標やビジョンを共有して、協働していくことが大切です。学校に関わる多様な人たちとのつながりを大切に、各校の特色を生かしながら、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと思っています。

幼稚園へ行こう週間

二宮町幼稚園・保育園・小学校連携推進事業の一環として、5月末～6月にかけて「幼稚園へ行こう週間」を実施しています。昨年度まで行っていた「夏季保育参観」に代わる事業として、試行的に実施しているもので、各幼稚園が設定した週の午前中に、小学校の教職員が訪問し、実際の保育の様子等を参観しています。教員からは、「普段なかなか見ることのできない幼稚園の様子を見学することができて、とても充実した時間となった。」「制作活動やボールを使った運動を参観し、園児の生き生きと活動する様子、特性に合った声かけをしている様子がよくわかった。」等の感想が聞かれました。幼稚園と小学校での活動時間の設定の仕方や施設(特にトイレ)の違いなどについても知ることができ、そのような違いを共有することで、小学校での声かけや手立てに生かし、円滑な接続につなげていきたいと思っています。

これに先駆けて、5月には幼稚園・保育園職員が、成長した子どもたちの様子を見に、1年生の授業を参観する機会もありました。このような連携を通して、就学前から小学校の6年間、そして中学校の3年間までを見通した、子どもたちの発達の段階を踏まえた指導につなげていきたいと思っています。さらに、町内にある二宮高校とも、様々な場面で、小・中学校と連携を進めています。にのみや学園では、このような他校種との連携を大切にすることで、多様な学びにつなげ、子どもたちの豊かな成長を支えていきたいと考えています。



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

